



<3月号>

朝三中だより

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

朝霞市立朝霞第三中学校
令和3年3月1日発行

〒351-0023
朝霞市溝沼 1043-1
TEL 048(464)7575
FAX 048(460)2280

見方を変える

校長 杉山 巖

いよいよ、今年度も最後の月となりました。暖かい日が増えてきて、校庭の木々も少しずつ緑を見せるものが表れ、黒目川沿いの桜もつぼみが膨らみかけ、春の訪れを感じる季節となりました。

首都圏を除く地域では、緊急事態宣言が前倒しで解除となりましたが、1都3県では解除はされず、3月7日までの宣言は変わりません。また、解除されたとしても私たちの生活が大きく変わるのは、まだ先のことでしょう。**学校生活は、これまでと変わらず毎日の健康観察をもとに、3密を避ける、マスクは原則着用、手洗いの励行などの感染症予防対策を続けて、活動を止めないようにしていきたいと考えています。**

さて、先日のご案内のように**3月15日の卒業式は規模を縮小して実施**します。卒業生とその保護者1名、そして教職員で実施します。本来ならば多くの保護者、そして在校生や地域の来賓の方々に祝福されて卒業生の門出を祝いたいところですが非常に残念です。ただ、卒業生にとっては同じ地域で育った者同士の最後の行事です。校歌をこの仲間で歌うのも最後です。卒業生の皆さんにはその瞬間を大いにかみしめてもらいたいと思います。

ところで、先日読んだある高校の学校だよりのコラムに、『**順風**』という題で「**逆風も、逆から見れば順風だね**」というものがありません。もとは栄養ドリンクのキャッチコピーだったそうですが、「**ものごとを逆から見てポジティブに捉えてみましょう**」という話です。マイナスの要素が多くても、**視点を変えてみると実はプラスの面だけを見つけることができる**かもしれないというものです。

私が、中学校の卒業時にも学年の先生からこんな話がありました。

『ある朝食の席に出されたトーストのパンがやや黒焦げだった。テーブルについたある者は、これを手にすると表の黒く焦げた面を見て、大変悲観した。

ところが、別の一人はこのパンを裏返しにしてみても焦げ目がないことを見つけ、「大丈夫、裏はこんがりきれいなトーストパンだ。」と微笑んだ』という話です。

何事も**片面のみを、特に暗い面のみを見て悲観**することが多々ありますが、**別の面から見る**こと、**考える**こともできます。そこから**別の見方、価値を見いだす**こともあるはずですよ。

今は、新型コロナウイルスの影響で、いろいろなことが制限され窮屈な毎日を送っています。でも、これも「逆風でいやだ」とするだけでなく、ポジティブな考え方で捉えて「**順風にならないか**」と考えることが大事です。新型コロナウイルスは全世界を巻き込んだ「**最大級の逆風**」だけれども、**見方を変えれば、自分を前向きに進ませる「最大級の推進力**」とすることができるかもしれません。「**逆風をうまく順風に**」と考えて、気持ちを、生活を充実させていただければと思います。